

# 乳幼児保育実践政策学シンポジウム

日時：平成27年5月16日（土） 13:00-16:30

場所：福武ラーニングシアター（東京大学本郷キャンパス）

講演 13:00-14:00



「保育の質保証制度整備  
—イギリスOfsted保育監査事業の経験—」  
講演者 Denise Hevey (Northampton大学名誉教授)

#### プロフィール

2001年にOfsted（国家教育水準局）保育監査部初代企画室長に就任。教育技能省への出向を経て、2005-2013年、ノーサンプトン大学教育学部教授。専門は心理学・保育。Ofstedにおいては、全保育事業者を対象とする保育監査体制を作り上げ、初めて保育の全国的な状況を明らかにした。児童虐待問題や保育政策に関する多くの共著、編著がある。

休憩 14:00-14:15

## シンポジウム 14:15-16:30 乳幼児保育の質評価を考える



Ofsted提供

司会 小玉亮子（お茶の水女子大学教授）  
登壇者 Denise Hevey教授（日本語への通訳付）  
梶瑞希子（聖徳大学教授）  
尾木まり（子どもの領域研究所所長）  
秋田喜代美（東京大学大学院教授）



Ofsted提供



Ofsted提供



Ofsted提供

申し込み 参加費無料

秋田研究室 天野まで

[miwako.amano@gmail.com](mailto:miwako.amano@gmail.com)

\* 予定定員になりましたら締め切らせていただきます

共催：文部科学省科学研究費基盤C 梶瑞希子研究代表  
「保育ユニバーサル化時代の3歳未満児ケア - 日独英3か国の家庭的保育事業の現状と課題」  
東京大学大学院教育学研究科 発達保育実践政策学センター準備委員会  
後援：幼児教育史学会、日本教育関連学協会（予定）

## シンポジウム開催趣旨

この4月から、子育て支援の量の拡充と質の向上を掲げて、「子ども・子育て支援新制度」が本格的に動き始めました。それに伴い、さまざまな民間事業者による多様な保育（養護と教育の一体的営み）の提供が増えていくものと予想されます。中心となって支援を進めるのは市町村ですので、それぞれの市町村による違いも大きくなると思われます。保育の質のとらえ方だけでなく、その維持・向上を継続的に指導・監督する仕組みが気にかかるところです。

本シンポジウムは、そのような保育の質保証への関心から企画したものです。基調講演は、ノーサンプトン大学名誉教授 Denise Hevey 先生にお願いしました。保育の飛躍的な拡充を実現したイギリス労働党政権（1997-2010）下で、全ての保育事業を対象とする一元的な監査制度づくりに携わった方です。その経験を共有したうえで、シンポジウムでは、Hevey 先生を含め4人の登壇者が、保育の質評価の問題について発言します。

子どもたちのより豊かな育ちと、保護者のより満ち足りた子育ての実現に向けて、私たちが踏まえるべきことを考える機会になればと願っています。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

（文責 聖徳大学教授 梶 瑞希子）